

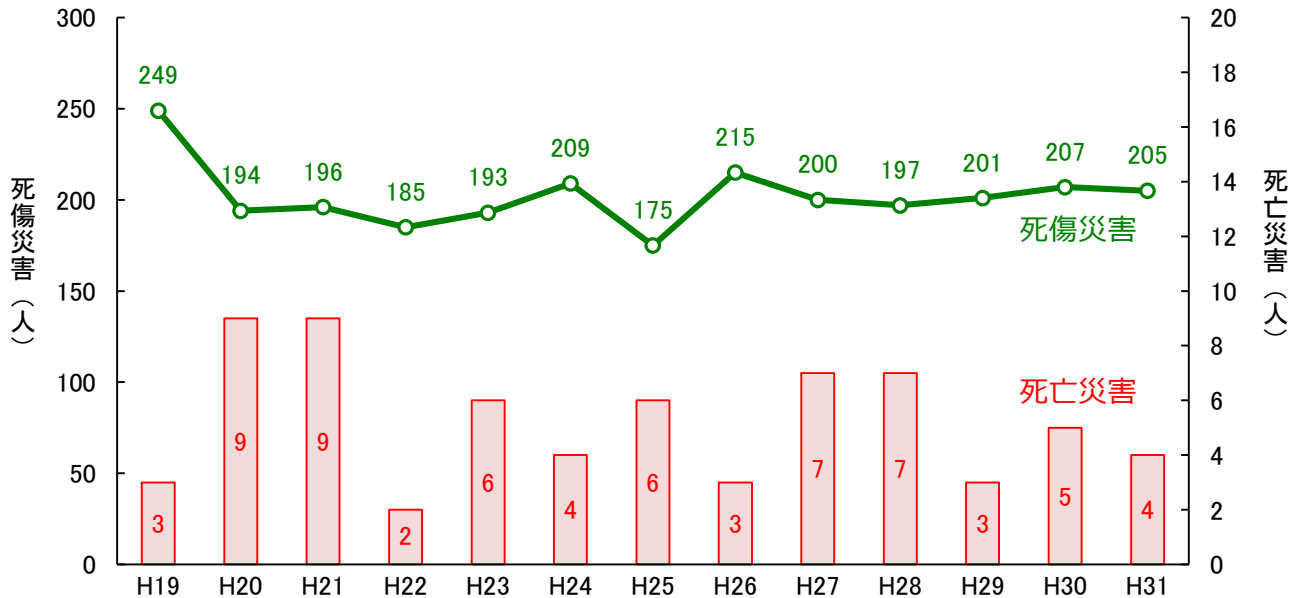
建設業における労働災害発生状況



～『アクションZERO』で無災害に取り組みましょう～

アクションZERO

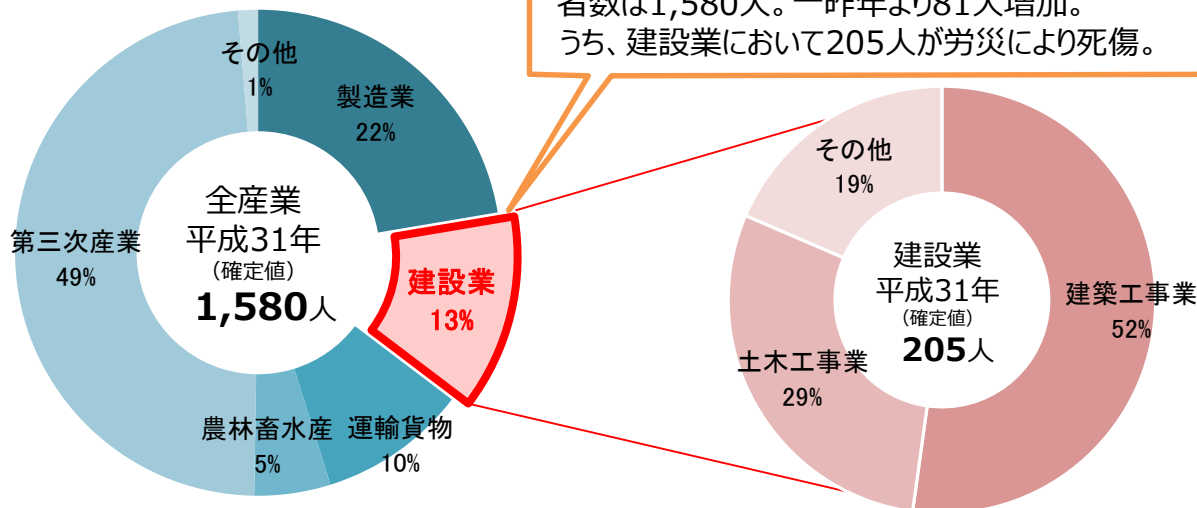
○建設業の労働災害の推移（長崎県内）



・平成31年における県内の労働災害による死傷者数は205人で、一昨年より2人減少。死亡災害については、一昨年より1人減少し4人であった。

○業種別災害発生状況（長崎県内）

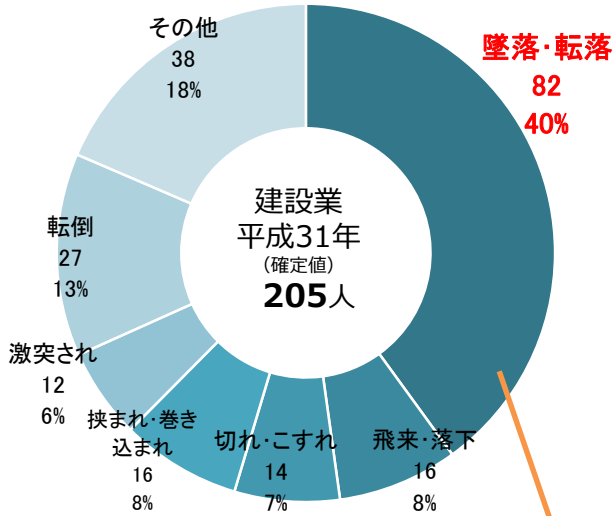
・平成31年の長崎県内における労働災害による死傷者数は1,580人。一昨年より81人増加。うち、建設業において205人が労災により死傷。



平成31年 建設業の労働災害発生状況（長崎県内）



事故の型別

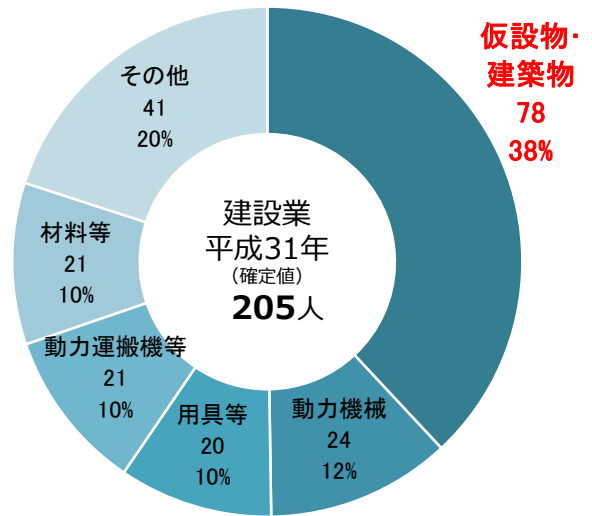


墜落・転落により82人が死傷し、うち1人が死亡。

※事故の型の例

- 【墜落・転落】 屋根や足場、梯子などから転落
- 【飛来・落下】 荷卸し中、荷が滑り落ちたなど
- 【切れ・こすれ】 チェーンソーや丸のこなどで切創

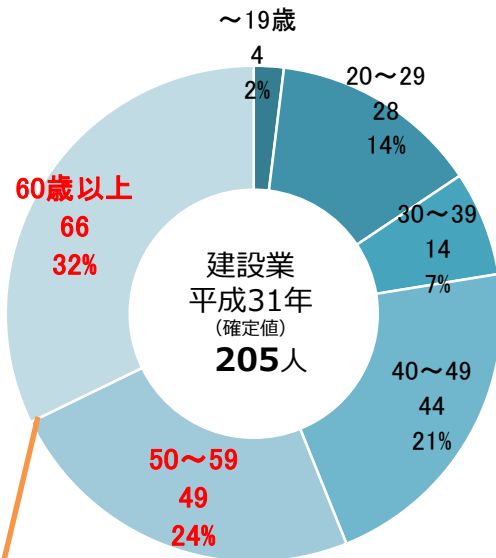
起因物別



※起因物の例

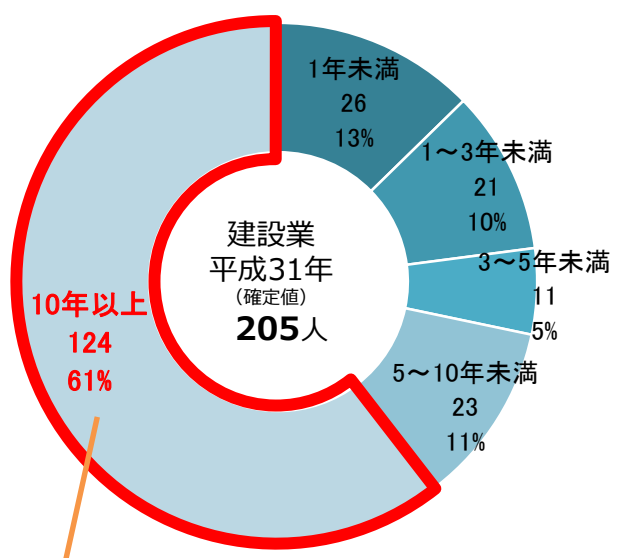
- 【仮設物・建築物】 屋根、作業床、足場など
- 【動力機械】 建設重機、木工機械など
- 【用具等】 はしご、脚立など
- 【動力運搬機】 移動式クレーン、トラックなど
- 【材料】 荷、鉄骨、鉄筋、木材など

年齢階級別



60歳以上の労働者が66人死傷し3割を占め、50歳以上においては、全体の半数以上を占めている。死亡者・・・30代1人、50代1人、60以上2人

経験年数別



経験年数が10年以上と10年未満で比較すると、10年以上の経験を有する労働者の方が多く被災している。

平成30年・31年 建設業の死亡災害（長崎県内）の概要

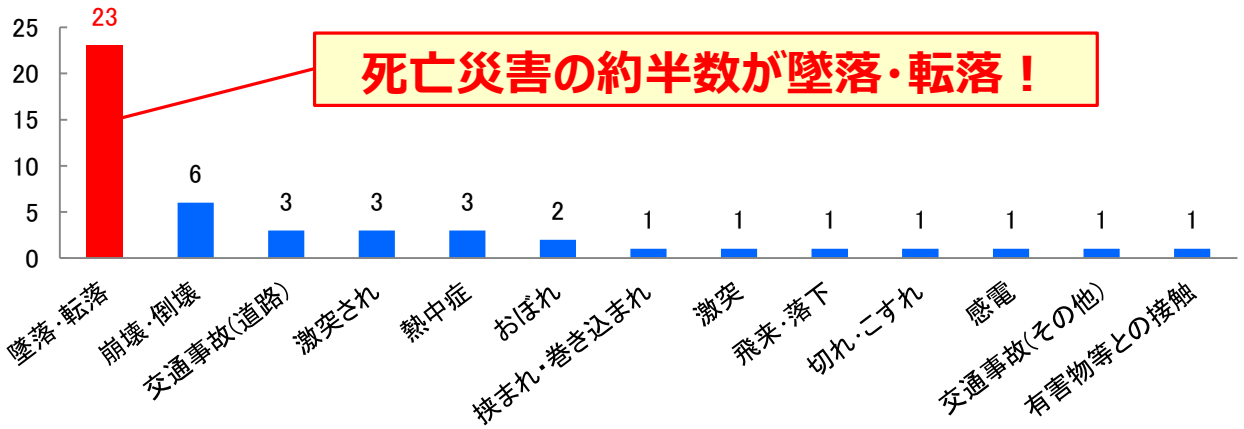


発生日時	職種・年齢・所属	発生状況	事故の型
H30.1月 8時頃	管理者 33才 元請労働者	トンネル坑内において、鋼製支保工を切羽に運ぶためにドラグ・ショベルを後退させたところ、切羽の写真撮影のため待機していた被災者に接触したものの。	はさまれ・巻き込まれ
H30.1月 11時頃	大工 68才 自社労働者	木造家屋建築工事において、高さ4.2mの位置にあるウッドデッキの床面に枠組足場を組立て、その上に脚立を乗せ、壁の防水シート貼り作業を行っていたところ、約7mの位置から墜落したものの。	墜落・転落
H30.9月 13時頃	左官 70才 元請労働者	2階建て木造家屋の解体工事において、2階床の端で、廃材を1階部分に止めていたトラックの荷台に投げ下ろしていたところ、木材についていた釘が作業服に引っ掛かりバランスを崩し、2.6m下のトラックの荷台に墜落したものの。	墜落・転落
H30.9月 10時頃	板金工 45才 下請労働者	工場屋根補修工事において、被災者ほか1名がスレート屋根の上で作業を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き、約8mの高さから墜落したものの。	墜落・転落
H30.11月 13時頃	電工 62才 下請労働者	被災者は、ブラケット足場上で、換気扇の取替え作業に伴い換気口の清掃作業を行っていたところ、足場上から17.3m墜落したものの。	墜落・転落
R元.6月 12時頃	作業員 68才 自社労働者	被災者は、同僚と2名で作業用道路の拡幅工事のため立木の伐倒作業を行っていた。 チェーンソーを使用し追口切りを行っていたところ、立木が垂直方向に割れ、端部が激突したものの。	激突され
R元.7月 18時頃	鳶工 50才 下請労働者	建設現場で当日の作業を終えた労働者が、会社の車に分乗し帰っていたところ、高速道路で自損事故を起こし同乗者4名のうち1名が死亡し、3名が負傷したものの。	交通事故
R元.8 15時頃	作業員 34才 元請労働者	住宅の外壁改修工事の足場解体作業を午前中に行い、午後から作業員2名で足場材の積込み作業中、被災者の足元がふらついていたため、休憩するよう言われ休憩していたが、数十分後に容体が急変したものの。	高温・低温の物との接触
R元.9 11時頃	解体工 61才 元請労働者	鉄骨造の倉庫解体工事において、被災者はフォークリフトに差し込まれたパレットの上に乗し、高さ3.1mの個所で玉掛け作業を行っていたところ、鉄骨が倒れ、鉄骨とともに墜落下敷きとなったものの。	墜落・転落

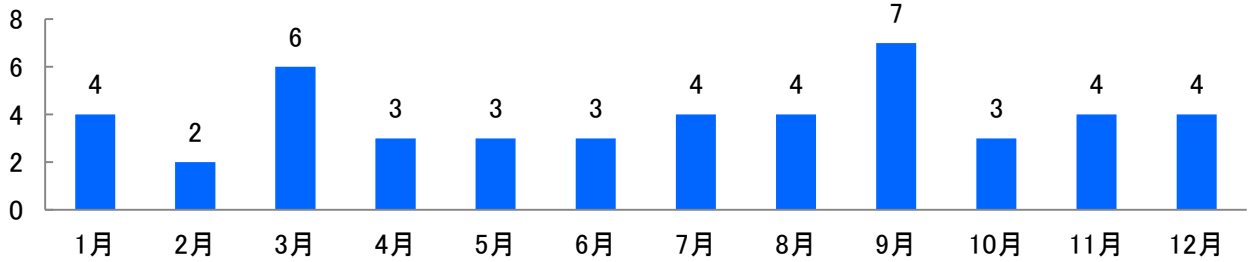
建設業の死亡災害発生状況（長崎県内）



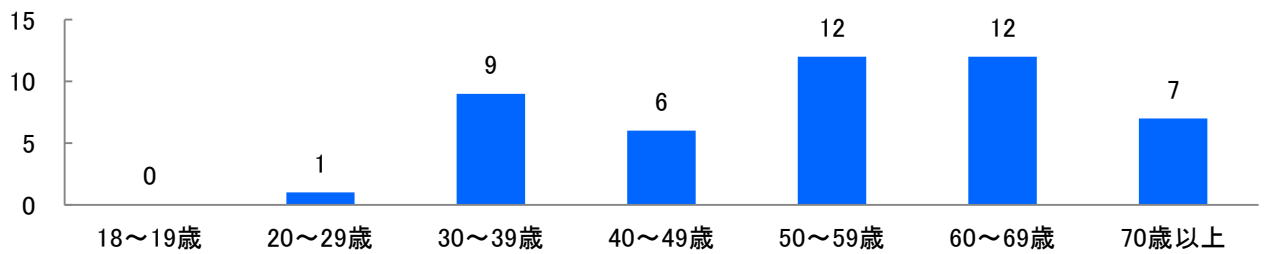
事故の型別 ※平成22年～31年死亡災害（人）



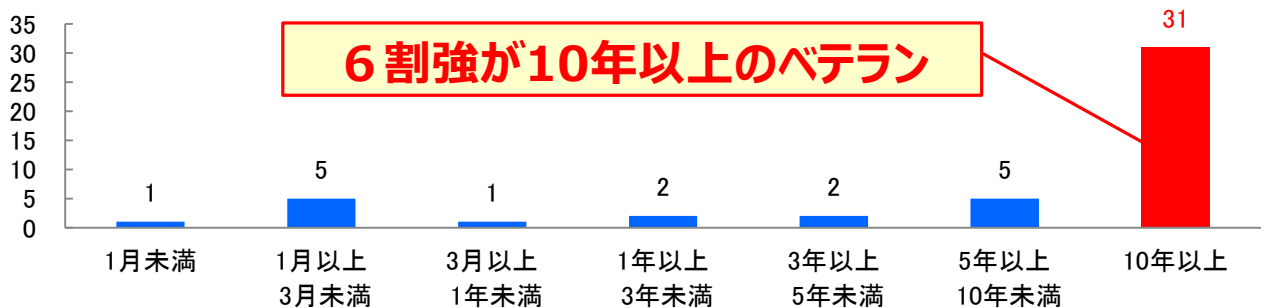
災害発生月別 ※平成22年～31年死亡災害（人）



年齢階級別 ※平成22年～31年死亡災害（人）



経験期間別 ※平成22年～31年死亡災害（人）





長崎ゼロ災運動

アクションZERO



長崎労働局と事業者並びに労働者が協力し、

究極の目標 **「労働災害ゼロ」** の

実現に向けて取り組む安全活動(アクション)です。



取り組む安全衛生活動



参加型無災害運動

長崎ゼロ災6か月運動 への参加



安心して健康に仕事ができる職場づくりのため

『創意工夫』した安全衛生の取組



アクションZERO



長崎労働局